

年間指導計画例

目標 音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学期	題材	目標と学習内容	学習指導要領との対照													学習指導要領との対照												内容の取扱い※	評価の観点 【知・技】知識・技能 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に学習に取り組む態度
			A 表現													A 表現						B 鑑賞							
			(1) 歌唱						(2) 器楽							(3) 創作						(1) 鑑賞							
			ア		イ		ウ		ア		イ		ウ			ア		イ		ア		イ							
				(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)		(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)					
一学期（4～7月）	ポップ・世界の日本とシン	【目標】 ポップスの曲想や文化的背景について理解を深め、個性豊かな歌唱表現を工夫して、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・リズムを感じ取って歌う。 ・歌詞の内容に合った表現の工夫をする。	○	○	○	○	○		○																(1) (2) (2) (4) (5) (8) (11)	【知・技】・曲想と歌詞やポップスの文化的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要なリズム感、発声などの技能を身に付けている。 【思】旋律と歌詞との関わりについて考え、曲想に合った表現を創意工夫している。 【態】歌詞の内容や人物の心情に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。			
	ヨーロッパの歌	【目標】 イタリア語やドイツ語の発音の技能を身に付け、旋律や伴奏の特徴を理解して、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・イタリア語、ドイツ語の発音の特徴を理解する。 ・旋律とハーモニーとの関わりを理解し曲想に合った表現の工夫をして歌う。	○	○	○	○	○		○																(1) (2) (2) (4) (8)	【知・技】・曲想と旋律や伴奏との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、外国語の発音や発声などの技能を身に付けている。 【思】旋律とハーモニーの関連を知覚し、それらの働きを感じながら、曲想の美しさについて考え、イメージに合った表現を創意工夫している。 【態】ヨーロッパ言語や芸術歌曲に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。			
	日本の心	【目標】 沖縄民謡の文化的背景と旋律の特徴を理解し、発声の工夫をして、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・沖縄民謡の音階を理解する。 ・歌詞の内容を理解する。	○	○	○	○	○		○																(1) (2) (2) (4) (6) (8) (9) (10)	【知・技】・曲想と沖縄民謡の音階や歌詞との関わりについて理解している。 ・沖縄民謡にふさわしい発声、方言の発音などの技能を身に付けている。 【思】歌詞と旋律の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、沖縄音階の特徴について考え、沖縄民謡に合った表現を創意工夫している。 【態】沖縄民謡に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。			
	合唱	【目標】 旋律とハーモニーの関わりを理解し、表現の工夫をして、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・フレーズのまとまりを考えながら歌う。 ・豊かな響きをつくるための発声の工夫をする。 ・ラテン語の発音と意味を理解する。	○	○	○	○	○	○	○																	(1) (2) (2) (4) (8)	【知・技】・曲想と各パートの役割について理解している。 ・合唱にふさわしい発声と、他のパートとのハーモニーを意識して歌う技能を身に付けている。 【思】旋律とハーモニーとの関連を知覚し、それらの働きを感じながら合唱が作り出す響きについて考え、豊かな合唱表現を創意工夫している。 【態】ハーモニーの創造に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。		
	鑑賞	【目標】 学習する題材の楽曲の特徴と歴史的背景を理解し、よさを味わって、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・楽器の音色や表現上の効果を感じ取り、そのよさを味わって聴く。 ・伝統芸能の特徴と文化的、歴史的背景について理解する（能「船弁慶」）。																	○	○	○	○	○	○		(1) (3) (2) (4) (8)	【知・技】曲想や表現上の効果と楽曲の演奏形態や文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。 【思】楽器の音色や旋律、ハーモニーとの関連を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲のイメージについて考えるとともに、表現上の効果について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【態】西洋音楽や我が国の音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		

※「内容の取扱い」の太字は、(4)に準拠した音楽Ⅰで示されているものを指す

学期	題材	目標と学習内容	学習指導要領との対照													学習指導要領との対照												内容の取扱い※	評価の観点 【知・技】知識・技能　【思】思考・判断・表現 【態】主体的に学習に取り組む態度	
			A 表現													A 表現						B 鑑賞								
			(1) 歌唱						(2) 器楽							(3) 創作						(1) 鑑賞								
			ア			イ			ウ			ア				イ			ウ			ア			イ					
				(7)	(4)	(5)	(7)	(4)	(5)		(7)	(4)	(5)	(7)		(4)	(5)		(7)	(4)	(5)	(7)	(4)	(5)		(7)	(4)			(5)
				(7)	(4)	(5)	(7)	(4)	(5)		(7)	(4)	(5)	(7)		(4)	(5)		(7)	(4)	(5)	(7)	(4)	(5)		(7)	(4)			(5)
一学期（9～12月）	日本の歌	【目標】 日本語の美しさを感じ取り、歌詞と旋律の関わりを理解し、曲想にふさわしい発声と表現を工夫して、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・発音や抑揚など、日本語の美しさを生かした表現の工夫を考える。 ・楽曲の文化的背景を学習する。	○	○	○	○	○		○																	(1) (2) (2) (4)	【知・技】・曲想と歌詞や旋律との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、日本語の発音や発声などの技能を身に付けている。 【思】歌詞とフレーズとの関連を知覚し、それらの動きを感じしながら旋律の美しさについて考え、日本語の美しさを生かした歌唱表現を創意工夫している。 【態】日本歌曲に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。			
	世界の心	【目標】 曲想やリズムなど日本歌曲との違いを感じ取り、個性豊かな表現を工夫して、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・リズムを感じ取って、のびのびと歌う。 ・旋律とハーモニーの関わりを感じ取って歌う。	○	○	○	○	○	○	○																	(1) (2) (2) (4)	【知・技】・曲想と旋律やリズムとの関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、リズム感や発声などの技能を身に付けている。 【思】旋律とリズムの関連を知覚し、それらの動きを感じながら曲想の特徴について考え、のびのびとした歌唱表現を創意工夫している。 【態】楽曲のリズム感に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。			
	楽器にチャレンジ	【目標】 2重奏に興味をもち、アンサンブルのよさを味わい、奏法の工夫をして、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・楽器の基本的な奏法を身に付ける。 ・2パートの関わりを理解し、楽曲のイメージをとらえて演奏する。							○	○	○	○	○	○	○										(1) (2) (2) (4) (8)	【知・技】・曲想と楽器の音色や基本的な奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にあった音色や相手パートとの調和を図って演奏する技能を身に付けている。 【思】それぞれのパートの役割を知覚し、ハーモニーや曲想について考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 【態】楽器によるアンサンブルに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。				
	鑑賞	【目標】 交響曲に関心を持ち、後世に大きな影響を与えた芸術作品に触れ、楽曲の構造や歴史的背景を理解するとともに、そのよさを味わって聴き、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・各楽章の特徴とその関連を理解する。 ・管弦楽の響きと合唱との関わりをとらえ表現上の効果を感じ取って聴く。 ・歌詞の内容を理解する。																	○	○	○	○	○		(1) (3) (2) (4) (8)	【知・技】・曲想や表現上の効果と楽曲の形式、楽章構成との関わりについて理解を深めている。 ・歌詞の内容と、その歴史的背景について理解を深めている。 【思】楽器の音色と合唱との関連、および各楽章の主題を知覚し、それらの動きを感じながら、テクスチャや楽曲全体の構成について考えるとともに、表現上の効果について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【態】後世に大きな影響をあたえた偉大な芸術作品に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
三学期（1～3月）	体を楽器に	【目標】 身体による音楽表現に関心をもち、主体的にアンサンブル活動に取り組み、表現の工夫をして、主体的・協働的に表現の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・各パートのリズムと音高を理解する。 ・強弱やリズム、テンポなどに留意して表現の工夫をする。	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○							(1) (2) (2) (4) (8)	【知・技】・曲想と音高を伴わない歌唱・身体表現との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱・身体表現をするために必要な、曲にあった音色や動作、アンサンブルの調和を図って演奏する技能を身に付けている。 【思】それぞれのパートの役割を知覚し、強弱やリズム、テンポ、発声について考え、オリジナリティーのある歌唱・身体表現を創意工夫している。 【態】ボディ・パーカッションに関心を持ち、主体的・協働的にアンサンブル活動に取り組もうとしている。				
	創作	【目標】 4小節の歌を、言葉のリズムや抑揚を理解し、旋律との関わりを考えて、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。 【学習内容】 ・言葉の抑揚を踏まえた旋律をつくる。 ・強調する言葉のリズムを工夫する。 ・旋律に合ったコードネームを設定する。																○	○	○	○			(1) (2) (2) (3) (4) (7)	【知・技】・旋律の音型と、歌詞の抑揚や強調したい箇所の関わりについて理解を深めている。 ・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律の工夫とそれに合ったコードネームを付ける技能を身に付けている。 【思】歌詞の抑揚と旋律の音型の関連を知覚し、それらの動きを感じながら曲想を考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 【態】創作に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。					
	鑑賞	【目標】 作品のストーリー、場面、役どころを理解し総合芸術のよさや美しさを味わうとともに、芸術文化を愛好する心情を育む。 【学習内容】 ・オペラについての特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・劇中の場面と楽曲との関わりを理解し、歌唱表現のよさや美しさを味わう。																	○	○	○	○	○		(1) (3) (2) (4) (8)	【知・技】・曲想や表現上の効果とストーリーや楽曲との関連について理解を深めている。 ・オペラ（総合芸術）の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。 【思】ストーリーと楽曲との関連、および人物の役どころを知覚し、それらの動きを感じながら、作品の表現上の効果について考えるとともに、オペラの特性について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【態】オペラに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				

※「内容の取扱い」の太字は、(4)に準拠した音楽Ⅰで示されているものを指す